第24号　平成27年９月１日発行

2015
5月臨時会
6月定例会
NO. 24

まつえ
MATSUE CITY COUNCIL
NEWS LETTER

市議会だより

国宝　松江城天守

分銅紋の刻印のある石垣

堀尾吉晴公像

祈祷札が貼ってあった柱

平成の松江風土記⑨

祝　国宝松江城天守

７月８日、正式に国宝指定された松江城天守。出雲に転封されたことにより、松江開府の祖　堀尾吉晴公が、1611年に松江城を築いた。以来、京極氏、松平氏の居城として守りぬかれ、廃城の危機をのりこえ、松江のシンボルとしてその雄姿をとどめている。

別名を千鳥城とも言われ、市民のみならず全国から訪れる観光客に親しまれている。

発行・松江市議会　編集・議会広報等特別委員会

6月定例会

平成27年6月17日～7月3日

松江城国宝化関連事業などの一般会計補正予算を可決

6月定例会では、平成27年度一般会計補正予算1件・特別会計補正予算1件、平成26年度一般会計補正予算1件・特別会計補正予算5件を含む、議案19件・承認13件などを審議し、原案可決・承認・同意しました。一般会計補正予算は4億8,134万円、今年度総額で1,001億6,534万円となりました。

一般質問には16人の議員が松江城天守国宝化に伴う観光客増加への対策、中核市移行に関する問題、農業再生・振興政策、原子力発電問題などについて市長及び執行部の見解を問いました。

補正額の主なもの

臨時福祉給付金事業	2億9,763万円	松江城国宝指定に伴う観光振興事業	5,156万円
子育て世帯臨時特例給付金事業	9,661万円	松江城国宝指定記念事業	3,353万円

条例改正の主なもの

松江市個人情報保護条例の一部改正

行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律（番号法）の施行に伴い、任意代理人の開示請求等を認めるなど特定個人情報（個人番号を含め個人情報）の取り扱いの特例を定める等の改正

松江市都市公園条例の一部改正

松江市総合運動公園に指定管理制度を導入するための改正

委員会・議員提出議案

件名		結果
委員会提出議案	松江市議会会議規則の一部改正について	原案可決（全員）
議員提出議案	医療機関に対する消費税制度の改善を求める意見書について	原案可決（全員）
議員提出議案	マイナンバー制度の円滑な導入・運営を求める意見書について	原案可決（賛成多数）
議員提出議案	山陰への高速鉄道の実現を求める意見書について	原案可決（賛成多数）
議員提出議案	地方単独事業に係る国保の減額調整措置の見直しを求める意見書について	原案可決（全員）

陳情の審査結果

件名		提出者	結果
陳情第17号	地方自治法第124条以下及び国会法第79条以下並びに請願法について、日本国憲法第16条の請願権規定の趣旨に合致する形での改正を求める意見書の提出について	足羽佑太	不採択
陳情第18号	戦争につながる安全保障関連2法案（国際平和支援法案、平和安全法制整備法案）の廃案を求める意見書の提出について	新日本婦人の会　松江支部 支部長　柏木小枝子	不採択
陳情第19号	松江市の拠点形成計画における松東地域の中間拠点づくりについて	松東地域中間拠点づくり推進協議会 会長　久保田明雄	—※

※閉会中に審査を行うことに決定しました。

市政のここが聞きたい　16人の議員が質問

6月定例会　一般質問

6月定例会では、6月22日から6月24日までの3日間にわたり一般質問を行いました。
質問をした議員本人が通告した項目の中から一つ選び、要旨をまとめたものを掲載しています。

会派代表質問

三島　良信（みしま　よしのぶ）（松政クラブ）

- **松江城天守国宝化について**
- 総合戦略策定について
- 高速鉄道整備について
- 中核市について

質問　大口町との姉妹都市提携の考えは

松江城を築き上げた堀尾吉晴公生誕の地、愛知県大口町の皆さまには、国宝に向け署名活動や銅像建立に協力を頂いた。松江市民と同じ気持ちで松江城に思いをしておられる。この機会に姉妹都市提携を結び、相互交流が一層深まるように望む。

回答　提携を行い両市町の更なる交流を図る

大口町では堀尾史跡顕彰会を中心に顕彰事業に取り組まれている。松江神社例大祭や円成寺の堀尾祭に多くの皆さまが参列して頂いている。今回、国宝化答申の朗報に我がことのように喜んで、町内でPRしていただいた。大口町の広報誌に、今年４月から松江紹介のコーナーを設けて頂いている。

姉妹都市の提携を行い、両市町の更なる交流を図ることが発展に繋がる。今後も経済界や民間団体、いろいろな交流や連携が進むように努める。

会派代表質問

森脇　勇人（もりわき　はやと）（松政クラブ）

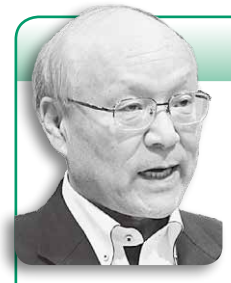
- **境港出雲道路について**
- 水道事業について
- 公会計制度について
- 選挙制度の改正・区割り・投票所について
- 就学前保育、保育行政の今後について
- 市立病院跡地の活用について

質問　今後の見通し、県への対応を伺う

市は県に対し全線調査区間への格上げなど、早期整備を要望しているが、県は最近、国に対して要望活動していないようであるが、原発の避難道路、宍道湖中海圏域の環状道路として、高速道路の境港までの延長も含め圏域の課題である。今後の見通しと県への対応を伺う。

回答　中海・宍道湖・大山圏域市長会からも要望を行う予定

地域経済振興や広域観光ルートの構築など多面的な効果を発揮すると共に災害時の避難道路としても圏域を結ぶ「8の字ルート」の一部を構成する地域高規格道路として早期整備が必要と考えている。県は事業区間を定める時点で要望すると伺っている。関係の期成同盟会から要望もしているが、中海・宍道湖・大山圏域市長会からも働きかけたい。



会派代表質問

石倉　徳章（いしくら　のりふみ）（真政クラブ）

- 市町村合併10年の検証と今後について
- **人口減少対策・地方創生について**
- 原発避難道路整備状況について
- 介護保険制度について
- 農業振興政策について

質問　高齢者の地方移住政策や日本版CCRC構想を提案する

日本創成会議が東京圏の高齢者の地方移住を提案した。全国41受入れ自治体のなかに松江市も挙げている。都会のエゴ、地方の人材が不足する等の批判もあるが如何か。また退職した高齢者が健康な内に移住し、生涯学習や社会貢献をしながら共同生活をするCCRC制度の導入を提案する。考えを伺う。

回答　元気な高齢者の移住は歓迎すべき、受け入れ環境は整っている

元気な高齢者の移住を歓迎する。知識、経験を地域に貢献して頂きたい。歴史、文化、豊かな自然環境、生涯学習の場や医療・介護においても環境は整っている。CCRC構想は官民あげて取組むことがポイントであり雇用機会の増加にも有効である。

会派代表質問

畑尾　幸生（はたお　こうせい）（市民クラブ）

- **松江城天守国宝化と活用策**
- 大都市制度と中核市について
- 指定管理制度
- 公共交通

質問　国宝化を契機にふるさと納税を活用し「松江城友の会」を全国に募っては

宇和島市では「宇和島城一口城主の会」を結成し、ふるさと納税を活用し、全国へ会員加入を呼びかけている。国宝化を機に同様な制度を設けたり、市民参加の松江城友の会等の検討はしてはどうか。

回答　城の整備に賛同される方にふるさと納税をいただく取り組みを検討する

天守だけではなく城全体の整備を行うため、大手門、やぐらの復元資料の提供を呼びかけ、それに賛同いただける方からふるさと納税をいただくことを検討する。その他、どんな取り組みが良いかいろいろな方のご意見を聞いて対応したい。松江市民を対象とした「松江城友の会」的な会を市民主体でつくっていただければありがたい。そのため、宇和島城、松本城などの情報を集めたい。

※会議録は松江市議会ホームページでご覧いただくことができます。

会派代表質問

田中　明子（たなか　あきこ）　（公明クラブ）

・松江城国宝化
・生活困窮者自立支援制度
・シルバー人材センター
・がん対策
・18歳選挙権
・フッ化物洗口
・欧州視察の成果

質問　生活困窮者自立支援制度の周知を

生活困窮者自立支援制度が4月から施行され、自治体に総合相談窓口の設置が義務付けられた。様々な問題を抱えた人への後押しする制度に期待を寄せるが、事業内容や周知の図り方をうかがう。

回答　「松江くらし相談支援センター」の開設をPRする

相談窓口で待つだけでなく来られない人には、地域の民生児童委員や福祉推進員につなぎ役をしていただき、必要に応じて相談支援員の訪問による相談も実施する。また、支援調整会議においてハローワークや福祉施設と連携を図る。4月に開設した「松江くらし相談支援センター」の周知は、新聞や市報、社協だより他、ポスターやチラシで行い、5月末までに170件の相談が寄せられた。

会派代表質問

片寄　直行（かたよせ　なおゆき）　（共産党議員団）

・市長の政治姿勢
・国民健康保険
・原発問題と防災
・松江北道路問題

質問　古江地区住民の意見集約は疑問だらけ

わずかな時間短縮のために250億円以上もの巨費を投ずる事業計画に市民から批判の声が多数でている。起債の返済と維持管理費に莫大なお金がかかり、まさに無駄遣いの典型例だ。古江地区の人たちが提案した新たなコースは88.52%の古江地区住民の賛同があったとのことだが、結論が出なかった自治会の戸数をカウントしていない問題、総取り方式の問題などがある。地区住民の総意かどうか疑問だらけ。コース別に何戸が賛同しているかという集約方法が正確ではないか、所見を伺う。

回答　地元の意見集約は尊重したい

古江地区の意見集約については、自治協会が責任を持ってまとめられた結果。集計方法については地元で決められたことであるので、尊重したい。

宅野　賢治（たくの　けんじ）　（友愛クラブ）

・税外収入による財政補完の現状と今後の取り組み
・庁舎整備事業
・公共事業の入札
・安全・安心の街づくり
・今後の松江市公共交通対策等
・道徳の教科化

質問　入札不調に対する今後の回避対策を講じていかれるのか

松江市においても、建設資材の高騰や建設業界の人手不足はより深刻になる見通しと言われる中、公共事業にかかわる入札不調の状況と今後どのような回避対策を講じていかれるのか伺う。

回答　労務費あるいは建設資材価格など最新単価を適用した予定価格に努める

入札不調について、国、県と比較して松江市は低い水準にある。今後の回避対策は、国が示している発注関係事務の運用指針に沿って改善を図る。具体的には、建設工事の積算において、労務費あるいは建設資材価格または経費率などについて、適正な最新単価を適用した予定価格の設定に努める。また、人手不足への対応としては、工事発注時期の平準化を図り、年間を通した計画的な発注を行っていく。

三島　進（みしま　すすむ）　（松政クラブ）

・松江市の駐車場対策について

質問　駐車場対策はこれでよいのか

歴史館には駐車場が無く周辺の駐車場の利活用が必要と思うがおもてなし駐車場は機能しているのか。また、地域団体に貸し出しの駐車場をコイン式にするなどしてはどうか。駅周辺はタクシーの待合所になっており一般送迎する市民の車が止められないが国際文化観光都市としていかがなものか。

回答　歴史館周辺はおもてなし駐車場、駅周辺の駐車場は地下駐車場で対応する

歴史館周辺の法務局、裁判所、金融機関等に対して、おもてなし駐車場の要請をしていきたい。ご指摘の市有地は地域に長年有償で貸し付けており転換は難しい状況。送迎の基本は地下を使っていただきたい。今後国宝化に伴い駐車場をどんどん作ることは考えていない。遊休地やおもてなし駐車場をチェックしお願いしながら対応する。

※会議録は松江市議会ホームページでご覧いただくことができます。

野々内　誠（ののうち まこと）　（松政クラブ）

- **共創のまちづくりについて**
- 島根大学の試験農場を中海干拓地に誘致することについて
- ものづくりアクションプランの施策展開状況について
- 介護保険等の制度改正について
- JR東松江駅周辺の開発について
- 本市の観光の振興について

質問　共創への取り組みは個人に拡大を

共創のまちづくりは、地域課題の解決にあたって市民や団体、企業が市と連携を図ることで、松江らしい新たな価値観を創出する目的があり、双方の役割分担によって自助努力という意識が芽生え、素晴らしい成果が上がると考える。集団から個人に広げるためには、一般市民への意識の浸透と協力が欠かせないが、取り組みの現状と今後の対策を問う。

回答　息の長い取り組みを継続していく

共創は、協働を一歩進めた新しい概念であり、市民の皆さんはもとより市職員においても意識の浸透はまだまだ十分とはいえない状況だ。ふるさと松江への愛、誇りを原動力に、地域課題の危機感を共有し、息の長い地道な取り組みを継続して行っていきたい。

長谷川修二（はせがわしゅうじ）　（公明クラブ）

- 若年高齢者の移住策について
- 地方公共交通と地方版総合戦略について
- スマートアグリ（植物工場）の導入について
- 水道事業の展望について
- **市内の小中学校への家庭用エアコン導入について**
- 国内観光交流について

質問　市内の小・中学校の普通教室への家庭用エアコンの導入について

松江市内の小・中学校の普通教室への家庭用エアコンの導入により、学習環境の改善による児童生徒の学力向上へ寄与すると思うが、導入を検討されてはいかがか。

回答　安来市の先進事例を視察し、効き具合を含めて調査研究する

県内では安来市が家庭用エアコンを設置している。まだ、実際の運用はこの夏が本番であり、今後の本格稼働の状況や効き具合等、そのような先進事例を視察を含めて調査研究していく。

吉儀　敬子（よしぎ けいこ）　（共産党議員団）

- 合併10年の検証と住民自治
- 小中一貫教育の現状と課題
- **松江市の農業再生**

質問　スマートアグリは慎重に検討を

農協法改正で、農家所得は倍増するのか。TPPからの撤退を国に要請すべきではないか。スマートアグリを視察して、市も取り組むのか。北海道千歳市でオムロンが立ち上げたトマトの水耕栽培も奥出雲町のトマトも5年で撤退した。国は、企業参入の大規模経営には莫大な補助金を出すが、米価暴落対策の手を打たない。失敗のリスクが大きいスマートアグリは、慎重な対応をすべきではないか。

回答　松江市に合った方法を慎重に検討する

農業を成長産業と位置づけ、関係者と一緒に農業発展に取り組む。TPP撤退を国に要請する考えはない。視察したスマートアグリは、省力化・大量生産だが、市の農業に何の目的でやるのか、必要があるのか、最初に大きな資金が要るので、そのことの兼ね合いで慎重に考えていく必要があると思う。

新井　昌禎（にい まさただ）　（友愛クラブ）

- 改正水防法への対応について
- 安全で快適な自転車利用環境の創出に向けた取り組みについて
- **マイナンバー制度の導入に向けた対応について**

質問　市内各企業のマイナンバー制度導入に向けた対応状況や課題は

国が全ての国民に12桁の個人番号を割り当てるマイナンバー制度のスタートまで半年余りとなったが、本制度は、全ての企業にも13桁の法人番号が割り当てられ、来年1月以降、源泉徴収票などの書類には、自社の法人番号と従業員の個人番号の付加が必要となるが、市内各企業のマイナンバー制度導入に向けた対応状況や課題について伺う。

回答　県内企業での対応が進んでいないことからきめ細やかな制度周知を図る

島根県内の企業に対する意識調査では、マイナンバー制度について知っていると回答した企業は、約3割しかなく、コスト負担も必要であることから対応が進んでいない。市としてもきめ細やかな制度周知を図り、国の取り組みに協力していく。

※会議録は松江市議会ホームページでご覧いただくことができます。

柳原　治（やなぎはら おさむ）　（松政クラブ）

- **松江北道路計画について**
- 農業問題について
- 松江市ひとにやさしいまちづくり条例について
- プレミアム商品券について

質問　知事に提出された要望書の所感を伺う

地元の意見が反映されていないルート帯案に、古江地区は改めて意見集約を行った。この結果を古江地区住民の総意とうけとめ、市長は、知事に古江地区が示したルート帯案を反映した北道路計画の検討をする旨の要望書を提出された。市長の所感を伺う。

回答　古江地区が示したルート帯案を反映した道路計画の検討を要望した

ルート決定については、地元の皆さんの意見を反映して決定するPI方式事業である。古江地区の意見調整、意見集約がなされた結果を重く受け止め、また、朝日ヒルズ工業団地の活性の問題も期待できることもあり要望した。県においては、知事にお願いしたわけだから、早期に検討結果を示していただきたいと思う。

芦原　康江（あしはら やすえ）　（無会派）

- 島根原発について
- **障がい福祉サービスについて**

質問　障がい福祉サービス支給決定は適切か

市は障害福祉サービス支給決定基準を設け、有料老人ホームに入居している障がい者を特別支給量の適用から除外している。その結果、入居している重度障がい者の方で、生活に必要なサービスが不足する事態が生じている。歳出削減に重きを置くあまり、障がい者の生活が成り立たなくなる実態を見ないようにしてはいないか。障害者総合支援法の理念に照らし合わせても適切とは思えない。いかがか。

回答　厚労省通知に基づき基準を設けている

障がい福祉サービスの支給決定については、障害者総合支援法、また「市町村が支給決定基準を定めておくことが適当」とする厚生労働省通知に従って基準を設けている。障害者総合支援法の理念に照らし合わせて適切でないとの指摘は、当たらないと理解している。

橘　祥朗（たちばな よしあき）　（共産党議員団）

- 拠点連携型まちづくりについて
- 空き家対策特別措置法について
- **中海・宍道湖の水質改善と水産振興**
- 八束町、有線放送の今後について
- グランドゴルフ場、料金下げて

質問　中海・宍道湖の水質改善と水産振興

宍道湖のシジミ漁の日本一回復、中海での赤貝の復活は市民の多くが歓迎。しかし両湖の水質改善は進んでいない。水質改善と漁業振興の取り組みは。水質改善、漁業振興には森山堤防の更なる開削と大海崎堤防の開削、架橋による反時計回りの水の流れの回復が必要、県や国への働きかけを。

回答　効果ある改善策、振興策を進める

水質はおおむね横ばい、環境基準を満たしていない。原因を究明し、国・県に有効な対策を求める。水質や流動などの調査分析を進め水質改善につなげるよう国・県に求める。覆砂や浅場造成など進めるよう要望する。

10年前に比べると、宍道湖の漁獲量は半減だが、シジミは昨年は日本一奪回。中海の漁獲量は7割減だが、赤貝、アサリの養殖に成功した。効果ある支援策を検討する。

貴谷　麻以（きたに まい）　（真政クラブ）

- 女性の活躍のための検診推進
- 観光計画の課題
- 農業生産品、水産品の販売額向上と働きがいについて
- **松江らしい地方創生、市民との共創**

質問　縄文時代からの深い歴史を誇る松江の市内外、海外への重層的展開を問う

地方創生、市民との共創について、松江にしかできない重層的な取り組みがある。古きものに新しい息吹を加え、市民の方々が主役となって共創のまちづくりを進めていくことが重要であるが、広域連携や情報の発信のありかたを伺う。

回答　民間を含めた広域的な拡充が必要

くにびきジオパーク（大陸移動説を伝えるくにびき神話の地質学的実証）四十二浦めぐり（出雲国風土記からの弁慶伝説を含めた慣習伝承）など今後、中海・宍道湖・大山圏域の市長会でも取り上げていきたい。武者応援隊、鉄砲隊、若武者隊の皆様との観光まちづくりの共創、水燈路では、リヨン市の「光景観創造ネットワーク」や「全国あかりサミット」への参加も視野に入れ国内外に発信したい。

※会議録は松江市議会ホームページでご覧いただくことができます。

議会報告会を5か所で開催

報告会の様子

平成27年度の議会報告会は、5月26日から6月5日にかけて、33名の議員が班を作り、公民館ブロック単位ごとに5か所で開催しました。多くの市民の皆さんに参加いただき、とくに島根大学の学生など若い方々にも積極的に参加いただきました。

報告会では、平成27年度の松江市の予算の概要と、自転車安全利用条例を報告し、その後会場から地域の課題や「線引き問題」「避難経路」など多くの質問や意見が出されました。また、報告会の持ち方についても意見が出され、今後の参考になりました。

5月臨時会

平成27年5月13日

選挙により議長、副議長を選出 各種委員会の委員を選任、任期後半の活動スタート

5月臨時会では、選挙により議長に山本勝太郎議員（松政クラブ）、副議長に森脇幸好議員（松政クラブ）を選出しました。

また、議会選出の監査委員に桂善夫議員（公明クラブ）を選任することに同意するとともに常任委員会・特別委員会などの各種委員会の委員を選任、玉井斎場管理組合議会議員の選挙などを行い、任期後半の活動がスタートしました。

なお、松江市議会における会派の構成と各議員の所属委員会は、次のとおりです。

松江市議会会派構成と所属委員会

（平成27年5月13日現在）

《松政クラブ》

柳原　治	建交広	野々内　誠	総宍広
野津照雄	建宍	吉金　隆	総運ま
森脇幸好	教原	松蔭嘉夫	教原
森脇勇人	経運ま	林　干城	経宍
三島良信	総運宍	山本勝太郎	経交
三島　進	建ま	立脇通也	教運原
比良幸男	総交		

《真政クラブ》

岩本雅之	建ま広	貴谷麻以	教宍
川島光雅	経運交	石倉徳章	総運原
南波　巌	総宍	石倉茂美	建原

《公明クラブ》

長谷川修二	教宍広	田中明子	建ま
桂　善夫	経運交	篠原　栄	総原

《市民クラブ》

森本秀歳	総交広	畑尾幸生	建ま
津森良治	教運原	川井弘光	経宍

《日本共産党松江市議会議員団》

吉儀敬子	教運ま	橘　祥朗	建宍広
片寄直行	総原		

《友愛クラブ》

新井昌禎	教原広	宅野賢治	経交

《会派に所属しない議員》

芦原康江	経ま広

氏名の横の文字は下記の委員会を表しています。

●常任委員会
総＝総務委員会
教＝教育民生委員会
経＝経済委員会
建＝建設環境委員会
運＝議会運営委員会

●特別委員会
宍＝宍道湖・中海問題等対策特別委員会
原＝島根原子力発電対策特別委員会
交＝総合交通対策特別委員会
ま＝まちづくり対策特別委員会
広＝議会広報等特別委員会

原発問題学習会を開催

学習会の様子

6月4日、松江市議会は、松江市と合同で、「原発問題学習会」を開催し、原発の廃炉の手続きや、高レベル放射能廃棄物の最終処分について原子力規制庁と資源エネルギー庁から説明を受けました。

竹原俊明・島根原子力規制事務所長が、廃炉計画の審査基準などを説明。施設の解体や汚染除去、廃棄物の処理方法などが適切であるかどうかを審査すると説明しました。

神宮努・資源エネルギー庁核燃料サイクル産業立地対策室長が、高レベル放射性廃棄物の最終処分については、科学的有望地を国が提示するとした、新たな基本方針などを説明しました。

安全に廃炉が進むのか、安心・安全な最終処分地がどこなのか、原発問題の大きな課題だけに、重要な勉強会となりました。

平成27年9月定例会日程

月	日	曜日	会　議　名
9	9	水	本会議（会期の決定、委員長報告・質疑、討論、採決、提案説明、決算特別委員会設置） 決算特別委員会（正副委員長互選）
	14	月	本会議（一般質問）
	15	火	本会議（一般質問）
	16	水	本会議（一般質問、議案質疑、委員会付託）
	17	木	決算特別委員会（質疑、分科会委託）
	18	金	総務委員会・決算特別委員会総務分科会 教育民生委員会・決算特別委員会教育民生分科会
	24	木	総務委員会・決算特別委員会総務分科会 教育民生委員会・決算特別委員会教育民生分科会 建設環境委員会現地視察
	25	金	経済委員会・決算特別委員会経済分科会 建設環境委員会・決算特別委員会建設環境分科会
	28	月	経済委員会・決算特別委員会経済分科会 建設環境委員会・決算特別委員会建設環境分科会
10	1	木	決算特別委員会（分科会長報告・質疑、採決）
	6	火	本会議（委員長報告・質疑、討論、採決）閉会

議会事務局 総務課　TEL 55-5432

市議会は傍聴することができます

午前10時から開催します。また、午後も引き続き開催する場合は、休憩をはさみ、おおむね午後1時から再開します。議事の進行等により時間が前後する場合がありますので、詳しくはお問い合わせください。

編集後記

松江城天守国宝、おめでとうございます。松江城を国宝にする松江市議会議員連盟の一員といたしましても市民の皆様と喜びを感じ、先人の方たちの熱意と努力に敬意を表するところです。

議会は平成27年5月から新体制となり、議会広報等特別委員会も新たなメンバーでスタートいたしました。これからも市民の皆様からのご意見をお聞きし、読みやすさ、わかりやすさをモットーに議会に係る重要な情報を発信してまいります。

議会広報等特別委員会委員長　柳 原　治

新しい委員で編集します

新しい議会広報等特別委員会の委員で「まつえ市議会だより」を編集しおとどけします。

（左から）新井昌禎委員、芦原康江委員、野々内誠委員、柳原治委員長
森本秀歳副委員長、長谷川修二委員、岩本雅之委員、橘祥朗委員（右上写真）

お詫びと訂正

まつえ市議会だより第23号（6月1日発行）3ページの表7行目執行部答弁のうち「都市計画マスタープランは、平成27年度中に県へ意見を出すことになる。」は誤りでしたのでこの一文を削除します。お詫びして訂正いたします。

皆さんのご意見をお寄せください

いろいろなご意見をいただいており、ありがとうございます。ご意見については、委員会の場で検討させていただいております。

〒690-8540　松江市末次町86
議会広報等特別委員会（松江市議会事務局）
電　　話（0852）55-5433
ファックス（0852）55-5533
議会事務局メールアドレス
giji@city.matsue.lg.jp

ホームページアドレスが変わりました
http://www1.city.matsue.shimane.jp/gikai/